

<緊急アピール>

平成30年5月8日

「第2報」

雇用主・従業員の皆さまへ

独立行政法人労働者健康安全機構
山梨産業保健総合支援センター

「職場のみんなで麻しん対策」

～ワクチンを接種して、はしかの感受性者を減らそう！～

今般、海外からの輸入症例を契機として、沖縄県でこれまで90人余りが麻しんに感染し、愛知県でも沖縄県を旅行した男性の感染が確認されるなど、国内のほかの地域に拡大する恐れが高まっています。

この事態を受けて、山梨産業保健総合支援センターでは、本日ここに緊急アピールを行います。



麻しんは感染力が強く、空気感染するもので、手洗い、マスクのみで予防できません。

麻しんの**ワクチン接種**が最も有効な予防法です。十分な免疫をつけるためには、2回の接種が必要です。

麻しんの患者さんに接触した場合、72時間以内に麻しんのワクチン接種をすることが効果的であると考えられています。感染をひろげないため、麻しんの感染が疑われる場合には、医療機関に事前に連絡してから受診してください。

なぜ職場で麻しん予防対策が必要か？

今回の患者の6割が20代～30代です。このことは、平成2年4月2日以降に生まれた方は、定期接種として2回接種する機会がありますが、それよりも前に生まれた方は、法令上は1回の接種機会でしたので、麻しんにかかったことがない場合、免疫が少ないか、免疫を持っていない可能性があります。

麻しんは、感染力が極めて強く免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、長期間にわたり出勤できなくなるなど就業に際しての大きなリスクとなる可能性がありますので、必要に応じ予防措置を進めていくことが肝心です。

麻しんにかかるとよくないのは？

妊娠中に麻しんにかかると流産や早産を起こす可能性があり、ワクチン接種を受けることができませんので、麻しん流行時には外出を避け、人込みに近づかないようにするなどの注意が必要です。また、麻しん流行時に、同居者に麻しんの高い方がおられる場合はワクチン接種等の対応について、かかりつけ医にご相談ください。



麻疹ってどんな病気？

麻疹（麻疹、はしか）は麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。感染してから約10日後に発熱や風邪症状がはじまり、2～3日発熱が続いたあと、39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。全身の免疫力が低下するため、肺炎、中耳炎などを合併することもあります。また、1,000人に1人の頻度で脳炎を発症することもあるので注意が必要です。



麻疹を予防するには？

麻疹の最も効果的な対策は、ワクチン接種です。それには、2回の予防接種が必要です。

予防接種法によって公費で接種できる年齢対象は、1歳児及び小学校就学前の1年間です。

この定期接種の対象者には、お住まいの市町村から問診票などが配布されます。

定期接種が受けられる医療機関については、お住まいの市町村にお問い合わせください。



海外渡航者への注意喚起

麻疹は、インド、中国をはじめとして、海外の多くの国で普通に流行しています。海外渡航の予定のある方は以下の点にご留意ください。

- 1 麻疹にかかったことが明らかでない場合、渡航前には、麻疹の予防接種歴（記録）を母子手帳などで確認し、2回接種していない場合は予防接種を検討してください。麻疹の既往歴や予防接種歴が不明の場合は、抗体検査を検討してください。
- 2 帰国後には、2週間程度は麻疹発症の可能性も考慮して健康状態に注意してください。

【広報情報】

☆外務省／海外における麻疹・風しんに関する注意喚起

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pc/wideareaspecificinfo_2018C028.html



麻疹にかかってしまったら？

感染をひろげないため、麻疹に感染している可能性がある方は、発熱等の症状がある場合は、直接受診することなく事前に電話等で医療機関にご相談ください。

麻疹と診断された場合は、発疹が出現してから5日間程度は他人への感染力があるため外出は避けてください。

広報情報

☆山梨県／麻疹対策

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/55791366442.html>

☆厚生労働省／麻疹について

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

☆国立感染症研究所／麻疹最新情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>